



子どもたちに快適な学び舎を！

ラオス 学校建設



南部サラワン県パーンラオ小学校の子ども
(撮影:瀬戸正夫)

ラオスにおける小学校数は8,573校(2006年現在)。そのうち校舎が良好な状態にある学校は全体の2割であり、あとの8割は現在及び将来に倒壊の危険性のある校舎だと言われています。校舎が老朽化する一方で、生徒数は増加の一途をたどり、子どもたちの学習環境整備は急務となっています。

SVAは1992年の事務所開設以来、緊急度の高い地域に小学校の校舎を建設し、子どもたちに安全な学び舎と就学の機会を提供してきました。新しい校舎は、生徒や教員の学習活動を活性化させ、住民たちにとって希望のシンボルとなります。

ラオス政府及び各援助機関とともに校舎の建替や増築が必要な小学校に新しい校舎の建設し、初等教育の基盤整備に取り組む地道な活動に、ご支援のほどお願い申し上げます。



ラオス 学校建設とは？

【事業の概要】

ラオスにおいて、小学校校舎(平屋)を年間3~4村に建設します。近年の対象校は、クラスター学校(学校群)システムの中心校や衛星校であり、SVAは建設後にクラスター内の教員研修等にも取り組んでいます。対象村内では学校建設委員会が設立され、木材や労働力を提供する住民参加のプロセスがとて大切にされています。

主たる建設工事は、教育省指定の設計図に基づく校舎づくりで定評のある現地の建設会社が請負います。SVAは事前調査はもちろんですが、事業の進捗状況を日本の支援者に報告し、施工管理や支払いなども担当致します。

工期は4~6ヶ月で、完成後には日本のご支援者をお迎えして贈呈式をとり行います。



老朽化した校舎



完成した新校舎(ボリカムサイ県ナーカム小学校)

【ナーカム小学校の新校舎で勉強する

子どもたちの声】

弟:おねえちゃん、きれいな教室どう?

上の姉:明るいし、静かでとても集中できるよ。

下の姉:早く新しい教室で勉強してみたいな。



【ご支援額】

- ・建設費(一棟5教室+職員室) 57,000ドル
 - ・建設費(一棟3教室) 48,000ドル
- (ご支援金額は、契約時の為替、資材費等で変動いたします。ご理解の程、よろしくお願いいたします。)

【所得税及び法人税の優遇措置について】

弊会へのご寄附については所得税及び法人税優遇措置がありますので、詳しくはお問い合わせ下さい。

【お振込先】

- 1) 郵便振替 * 郵便振替手数料が免除
郵便振替口座:00150-9-61724
口座名:社団法人シャンティ国際ボランティア会
* 郵便振替用紙に「ラオス学校建設募金」とご記入下さい。
- 2) 銀行送金 * 送金手数料はご負担ください。
銀行振込口座:三菱東京UFJ銀行 巣鴨支店(普通)3580105
口座名:「社団法人シャンティ国際ボランティア会」

【ご支援決定から建設完了まで】

建設地決定、事業計画書のご提案、覚書の調印、支援金の入金、ご芳名(ロゴ)の確認

↓
建設開始、着工報告送付

↓
中間報告送付

↓
建設終了、ご芳名プレート設置、完了報告送付

↓
贈呈式

***詳しくは、弊会東京事務所ラオス担当までご連絡ください。**

社団法人シャンティ国際ボランティア会(SVA)

〒160-0015 東京都新宿区大京町31 慈母会館

電話 03 (5360) 1233 FAX 03 (5360) 1220
http://www.sva.or.jp Email: info@sva.or.jp